

令和4年度伊予市社会福祉協議会事業計画

〈基本方針〉

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活様式は大きく変化してまいりました。収入の減少や不安定な雇用情勢などにより生活に困難を抱える住民が急増したほか、これまで地域で展開されていたボランティア活動や支え合い・助け合いの活動が中止を余儀なくされるなどにより、多くの住民が生活に不安を強いられる状況となりました。

こうした社会情勢のもと、本会においても次に掲げる重点目標により、安定的で発展性のある組織運営の実現に向けた取り組みを進めてまいります。地域共生社会の中心的な担い手として役割を果たすよう、地域が抱えるさまざまな課題の収集、分析並びに社会資源の発掘をいたします。さらに、これまで培ってきた関係機関・団体等とのネットワーク及び社協の持つ専門性を活かし、一人一人の住民が、その人らしく、安心して生き生きと暮らせるしあわせのまちづくりのスローガンのもと、課題の解決に取り組むこととします。さらに、委託事業についても充実を図り、地域福祉の推進を担う中核的な役割として、地域共生社会の実現に向けて総合的に伊予市の地域福祉の充実・推進を図ってまいります。

○重点目標

1. 一人一人の住民が、その人らしく、安心して生き生きと暮らせるしあわせのまちづくりの実現を目指します。(法人全体)
2. ささえあいの地域づくりを推進するために本会を中心とした活動を進めるとともに、地域の各団体との連携・協働による取り組みを広げ、地域のつながりの強化に努めます。(地域福祉事業)
3. 福祉専門員のスキルを向上し、地域住民のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援活動、権利擁護支援等に対応します。(地域福祉事業)
4. 市民の福祉意識の醸成を図るとともに、ボランティア活動の振興を図ります。
5. 介護保険事業などの安定した運営のため、介護職員の人材確保が最重要課題となっています。職員の研修については、内部研修の充実及び外部研修へ参加することにより利用者へのサービス提供及び家族への支援に役立てていく。(介護保険事業・障害支援事業)
6. 指定管理事業の生きがい活動センターは、市民の集いの場として介護予防支援を目的とした拠点施設となっています。時代の変化に合わせ、市民から求められる施設設備を充実するとともに介護予防の普及啓発や趣味及び生きがい活動の会場や交流の場として利用者の拡大を図っていきます。

《実施事業》

1 社協運営事業

① 法人運営事業	(市補助・単独事業)
<p>理事会、評議員会を開催し、事業計画並びに資金収支予算書を定め、決算や補正予算、監査など本会の基幹的な業務を計画的に実施し内部統制の強化の推進に努めます。また、働き方改革関連法に基づき職員が安心・安全に業務に従事できるよう、魅力のある職場づくりに努めます。</p>	
② 社協運営補助事業	(市補助・単独事業)
<p>福祉活動専門員が、本会の中心となって地域福祉事業に従事します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な人材育成及び職員のスキルアップを図り、市民に信頼される社協づくりに努めます。 ・南山崎・中村・郡中・上野・中山・双海の 6 つの地区社協に対して、社協職員が各地区を担当し、それぞれ地域特性に応じた活動を支援します。 ・福祉教育推進のため支援しています。学校及び児童、生徒の社会福祉への関心と理解を深め、共生の精神を養い、児童や生徒を通じて家庭及び地域社会への福祉啓発を図ります。 ・伊予市が策定する「伊予市地域福祉計画」と伊予市社会福祉協議会が策定する「伊予市地域福祉活動計画」とを合わせて「伊予市しあわせのまちづくり計画」とし、市と本会、地域住民が協働して一体的に地域福祉の推進に取り組みます。 	
③ 独自運営事業	(単独事業)
<p>伊予市社会福祉協議会会員会費募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会の自主財源は、会費と寄付金で賄われております。市民の皆様へ会員会費による地域福祉活動を周知し本会事業に理解促進を図ります。特に特別会員会費の拡充に努めます。(市内法人・企業や福祉活動に賛同していただける個人) <p style="text-align: center;">(一般会員:年会費 500円 特別会員:年会費 2,000円)</p> <p>広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協だより(年6回発行)での情報提供は、紙媒体の特性を生かした内容の充実を図り、社会福祉への理解を促進します。 ・ホームページを生かした情報提供では常に新しく有益な情報の提供を行うとともに、社会福祉法人として法令に基づく情報公開も行います。 ・SNSを活用した情報提供では、迅速かつ広範囲な情報発信を行うため Facebook、Instagram、Twitter を活用し、個人情報の取り扱いに注意しながら幅広い世代への情報提供を行います。 <p>社会福祉大会とボランティアフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あい・愛フェスタ」を開催し、社会福祉事業従事者等の顕彰を通じ、永年の献身的尽力を労うことにより、地域福祉向上への意識高揚を図る。また、市民のボランティア活動への参加促進を図り、ボランティア関係者の交流を深め協働促進を目指し 	

ます。

《主な内容》 社会福祉に貢献された方の顕彰、記念講演、ボランティアグループの発表、展示・体験コーナー、各種団体によるバザーなど

福祉機器の貸し出し

- ・在宅で介護を受けているおおむね 65 歳以上の高齢者及び身体障害者手帳の所持者に対し、車椅子、ポータブルトイレ等の福祉機器を必要に応じて貸し出します。(利用料:1日10円。但し、身体障害者手帳1・2級保持者は、無料。)

福祉車両貸出

- ・外出困難な高齢者及び障がい者等に福祉車両を貸し出し、利用者の社会参加と福祉の向上を図ります。

《貸出車両》 伊予事務所 2台

中山・双海事務所 各1台(車椅子対応)

- ・社会福祉法人に義務付けされた地域公益活動の取り組みに対し、市内社会福祉法人が一堂に会し、共同参画のもと、研究および計画づくりを行い、地域に求められる地域密着の地域公益活動を円滑かつ効率的に実行していくために、伊予市社会福祉法人連携会議を開催して地域公益活動の取り組みを検討します。

2 地域福祉事業

① 福祉サービス利用援助事業	(市補助・県社協受託事業)
<p>判断能力が不十分のため、日常生活を営むのに不安がある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービス利用援助事業、日常生活上の手続き援助、日常的金銭管理、書類等の預かりサービスの援助を行います。</p> <p>サービス提供に当たっては、社協内での連携を強化し、他の各相談支援事業所や地域包括支援センター、福祉課等関係機関との連携も密にし、利用者が地域で安心して暮らせるよう支援します。</p>	
② 法人後見事業	(市補助・事業収入事業)
<p>認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な人達は、財産の管理や、福祉サービスなどの利用のための様々な契約を行うことに困りごとを抱えている場合があります。伊予市社会福祉協議会が法人として成年後見人、保佐人、補助人となって、その人の判断能力を補い、安心して生活を送れるよう支援します。</p> <p>社協としての相談支援体制整備により基盤を厚くして事業に取り組み、制度の周知や、各関係機関等との連携の強化を図ります。</p>	
③ 民生児童委員協議会運営事業	(市補助事業)
<p>民生児童委員は、地域に暮らす身近な相談相手として、さまざまな課題を抱える高齢者や障がい者、子育て世帯等のニーズを行政や専門機関につなぎ、解決に結びつける役割を担っています。このため、組織の基盤強化に向け積極的に研修会を開催するなどして資質向上を図るとともに、行政や地域関係者との連携による要援護者</p>	

<p>支援及び小地域ネットワーク推進等の支援を行います。</p> <p>福祉のまちづくりを推進するために定例会に参加し、民生児童委員活動との連携を密にするとともに、情報を共有し各種事業を推進していきます。</p>	
④ 共同募金事業	(共同募金事業)
<p>愛媛県共同募金会伊予市支会の事務局として、次の通り募金運動を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金 (運動期間:10月1日～12月31日) 赤い羽根共同募金目標額 (戸別募金:1口 500円) ・歳末たすけあい募金 (運動期間:12月1日～12月31日) 歳末たすけあい募金目標額 (戸別募金:1口 300円) <p>一人でも多くの方に募金活動に参加していただけるよう広報啓発に努めるとともに、ボランティアの方々の協力を得て法人募金や街頭募金等を行います。また、福祉団体及びボランティアグループ等への配分や、「ささえあい活動支援事業」による公募配分、「歳末ふれあいの集い」など歳末たすけあい運動に関する事業への助成など、募金が地域で有効に活用されるよう周知・啓発に努めます。</p>	
⑤ 生活福祉資金貸付事業	(県社協受託事業)
<p>支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障がい者世帯に必要な資金の貸付を行うとともに、相談援助指導による適切な利用促進に努めます。また、行政や民生児童委員等との連携により経済的自立及び社会参加の促進を図ります。</p>	
⑥ まごころ銀行運営事業	(単独事業)
<p>市民から寄せられたご芳志を、地域の福祉事業に活用させていただきます。</p> <p>寄付は減少傾向にあるため広報啓発に努めるとともに、その用途については、まごころ銀行運営委員会で協議し、地区社協への助成など有効活用を図ります。</p>	
⑦ 生活困窮者自立支援事業	(市受託事業)
<p>社協の相談支援事業の中心としての位置づけから、どの部署でも生活困窮者からの相談を受けてこの事業につなげ、多様な課題の解決に向けた各種支援が計画的かつ包括的に行われるよう自立支援計画を策定するとともに、その実現のために伴走型の支援を行い、関係機関との連携や社協内での体制強化をします。また、アウトリーチにより支援が必要な方が見過ごされることのないようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会に参加して職員の相談支援能力の向上に努めます。 ・制度定着に向け一層の広報啓発に努めます。 	
⑧ 就労準備支援事業	(市受託事業)
<p>様々な理由で長期間就労から遠ざかっている方やコミュニケーションがうまくいかない方、生活リズムが不規則な方など、すぐに既存の就業紹介や職業訓練、求職者支援制度などを利用することが難しい方に対し、就労に向けた準備として、一人ひとりの状況に応じた個別ワークやグループワーク、就労体験などを行い、就労に必要な基礎能力の形成及び、就労意欲の喚起を図り、一般就労につなげるように努めます。</p>	
⑨ 家計改善支援事業	(市受託事業)

<p>経済的に困窮している方に対して、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、家計相談や家計簿作成等の支援等を行い、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ等を行い、早期の生活再生を支援します。</p>	
⑩ 心配ごと相談事業	(単独事業)
<p>市内全体の相談事業の一端を担い弁護士等の専門家による無料相談を設け、市民の幅広いニーズに応えられる体制整備に努めます。</p> <p>《弁護士相談》 ボランティアセンター:毎月第1・第3水曜日</p> <p>《行政書士相談》 ボランティアセンター:毎月第2金曜日</p> <p>《税理士相談》 ボランティアセンター:毎月第2・第4火曜日</p>	
⑪ 高齢者見守り員設置事業	(市受託事業)
<p>市内の65歳以上の一人暮らし高齢者等の見守りを行っていますが、社協だより等で制度の一層の周知に努めます。</p> <p>市や同じ地区を担当する民生児童委員との連携により対象者を出来る限り把握し、不測の事態を未然に防止するための普段の見守りや相談支援を行なうとともに、関係機関等とも連携しながら事故や悪質商法等の防止に取り組みます。</p> <p>また、見守り員のスキルアップや情報共有のため地区毎の定例会や全体研修会を開催します。</p>	
⑫ ふれあい・いきいきサロン事業	(市受託事業)
<p>地域住民が主体となって取り組む自主的な活動で、高齢者の仲間づくりや交流の場作りをすることで、孤独感の解消や閉じこもり防止など介護予防を図っています。地域で開催するサロンの開催支援と新規サロンの開設促進及び世話人研修会や代表者等の情報交換を行いサロン活動の充実を図ります。</p> <p>なお、世話人研修会では、簡単で気軽に取り入れられる内容のものを実施するようにして、各サロンに持ち帰れるようその充実に努めます。</p>	
⑬ ボランティアセンター事業	(市受託単独事業)
<p>地域共生社会の実現のためにボランティアは重要とされています。</p> <p>地域住民のボランティア活動への関心を高めるため各種講座を開催します。</p> <p>地域で活動するボランティア及び団体の把握に努め、ボランティア間のつながり、また、ボランティア連絡協議会の充実や支援体制の強化を図ります。</p> <p>近年増加する大規模災害に対応するため、災害ボランティアセンターの設置訓練等、体制整備を図り、併せて地域と連携した避難訓練を実施し、また、福祉教育に取り組みます。</p>	
⑭ じゅらく生きがい活動センター事業	(市指定管理事業)
<p>介護予防拠点施設として、レクリエーションや機能訓練を行い健康増進や筋力維持をし、楽しく明るい生活を営めるようにすることを目的として事業を実施します。</p> <p>認知症予防のスマイルクラブや機能アップ教室等、また介護保険を利用しないデイサービスと生きがいを高める活動など、様々な事業を行います。</p>	

水曜の午前中には1回200円で入浴していただけます。	
⑮ 双海生きがい活動センター事業	(市指定管理事業)
じゅらくと同じく、介護予防拠点施設として事業を実施します。 認知症予防のスマイルクラブや機能アップ教室等の様々な事業を行います。 月曜、水曜、金曜は1回200円で入浴していただけます。	
⑯ 下灘老人憩の家運営事業	(市指定管理事業)
高齢者の健康の増進と教養の向上を図る、憩の家を運営します。 認知症予防のスマイルクラブなどの事業も行います。 月曜、水曜、金曜の午前中は1回200円で入浴していただけます。	

3 在宅介護事業

① 在宅介護支援センター事業	(独自事業)
介護が必要、もしくは必要となりつつある高齢者やご家族の介護に関する相談窓口として、制度の説明やサービス等について必要な情報提供等の支援を行います。また、各種のサービスが利用できるよう、地域包括支援センター等の関係機関や事業所等との連絡調整を行います。	
② 居宅介護予防支援事業	(市受託事業)
介護支援専門員(ケアマネジャー)が、伊予市地域包括支援センターからの委託を受け、要支援者や介護予防・日常生活支援総合事業対象者のケアマネジメント(ケアプラン作成等)を行います。	
③ 伊予市子育て支援ヘルパー派遣事業	(市受託事業)
妊娠中や1歳未満のお子さんがいるご家庭にホームヘルパーを派遣し、家事や育児の支援によって養育者の心身の安定と育児不安の解消、負担の軽減を図ります。	
④ 伊予市一般介護予防事業	(市受託事業)
高齢者が要介護状態等になることを予防するとともに、要介護状態になった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことが出来るよう、認知症予防教室等を実施します。	

4 介護保険事業

① 居宅介護支援事業	(介護保険事業)
介護支援専門員(ケアマネジャー)が、介護保険サービスの説明や申請代行、ケアプランの作成を行い、サービスをスムーズに利用できるよう、在宅生活をバックアップします。	
② 訪問介護事業	(介護保険事業、介護予防・日常生活支援総合事業)
要介護状態あるいは要支援状態になられても、可能な限り長年住み慣れた地域で日常生活を営んでいただけるよう、利用者に応じた自立支援を目指した良質なサービスを提供します。食事・入浴・排せつ介助などの身体介護や炊事・洗たく・掃除などの生活援助を行います。伊予・中山・双海の3事業所でサービスを提供しま	

す。

5 障害支援事業

① 障害者居宅介護事業(ホームヘルプ)	(自立支援給付事業)
<p>障がい者等が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した生活を営むことが出来るよう、ホームヘルパーが各家庭を訪問し、入浴や排せつ、食事の介助をはじめ、生活全般にわたる援助を行います。</p> <p>また、視覚障がい等により移動が困難な方の外出時に同行し、必要な情報の提供や移動時の援護を行います。</p>	
② 障害児・者計画相談支援事業	(自立支援給付事業)
<p>障がい者及び障がい児等から日常生活に対する意向や悩み等の相談を受け、必要な情報の提供及び助言等を行うとともに、利用者が自らの選択に基づく適切な障害福祉サービス等を、多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう計画策定を支援します。また、定期的にサービス利用状況等を検証し、計画の見直しを行います。</p>	
③ 障害者相談支援事業	(市受託事業)
<p>障がい者等からの日常生活上の各種相談に対し、必要な情報の提供及び助言その他障害福祉サービス利用等の支援を行うとともに、虐待の防止及び早期発見のための関係機関との連絡調整、その他障がい者等の権利擁護のために必要な援助を行い、自立と社会参加の促進を図ります。</p> <p>障害者相談支援事業を円滑に実施して地域の相談支援機能を強化し、住宅入居等支援、障がい者の養護者に対する支援など、市の基幹相談支援センターとして、相談支援専門員3名でその中核を担い市全体のサービス向上を図ります。</p>	
④ 障害者地域生活支援事業	(市受託事業)
<p>ホームヘルパーが、屋外での移動が困難な障がい者等に対し、社会生活をおくる上で必要不可欠な外出や余暇活動等への社会参加のための外出支援を行います。</p>	